



中山間地域におけるファームシステム・まちづくりに参画する人材の条件

生命環境学部 生命科学科

准教授 村田 和賀代 (むらた わかよ)

連絡先 県立広島大学 庄原キャンパス
murataw@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 農業経済学, 農業史

キーワード： イギリス農業, ファームシステム, 農業・農村におけるジェンダー, まちづくり, 地域開発

●研究内容

○中山間地域で生活し続けるためのシステムを考えていきます

高齢化が進行する中で、日常生活に必要なサービスが減少しつつあります。それでも、地域での生活を続けるための地域管理として、参加型のまちづくりを定着する必要があります。

○現有の資源の中から、地域開発の可能性を探ります

現在ある資源、「ヒト・モノ・カネ」をいかに発展させていくかが中山間地域の開発の中心課題といえます。地域に根付いている農林水産業を持続可能な形で維持することが重要です。

○市民参画型のまちづくりを定着させるための「人づくり」に必要な条件を探ります

新たな地方自治が推進される中で、「地域のことは地域の人で解決する」問題解決型の地域管理（まちづくり）が求められるようになりました。このようなまちづくりに参画できる人を育てるためには何が必要なのか、条件を整理していきます。

●期待される成果と応用

- 地域の特性にあった地域管理やまちづくりの手法
- 地域資源の再確認
- 社会開発と人材育成, 受け皿となる組織の構築

●想定される連携先

- ①地方自治体
- ②協同組合
- ③試験研究機関



間伐が行われない森林では、光が十分に差し込みません。低調な国産材価格と後継者不足により、管理されない森林が増えています。このことは中山間地域の問題の一つとなっています。